

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~3日	10月 ~10日	10月 ~17日	10月 ~24日	10月 ~31日	11月 ~7日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	137	114	169	115	122	85	45	12	7	14	16	13 (14)	11
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	52	61	55	64	63	45	42	31	20	18	16	14 (17)	19
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	1	2	3	2	0	1	1	0	1	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	3	1	5	8	10	23	9	3	2	6	7	6 (7)	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	33	19	39	25	17	15	20	6	8	3	4	4 (5)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	15	25	31	13	14	19	10	4	5	4	2	3	0
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	1	3	4	4	0	4	5	0	1	2	0	0	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第44週(11月1~11月7日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4					2		2
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					1	1	
四類	3	重症熱性血小板減少症候群	1						1	
		日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	1							1
五類	6	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2						1	1
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1						
		梅毒	3					3		
新型インフルエンザ 等感染症	41	新型コロナウイルス感染症	41	3	1	2	0	13	0	22

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症

第44週に13件の報告があり、新規感染者数は低い水準で推移しています。引き続き、手洗いやマスク着用、換気などの基本的な感染防止対策を徹底しましょう。また、年末にかけて会食の機会が増加します。これまで会食の場でクラスターが発生した事例が報告されていますので、会食を行う際には感染防止対策を徹底しましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい
												↑	↓	↗	↘
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.30		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.18					
小児科	咽頭結膜熱	2	0.08	0.33		小児科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.45					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.33	1.49			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03				
	感染性胃腸炎	57	2.38	5.00	↔	基幹	流行性角結膜炎	-	-	0.43					
	水痘	1	0.04	0.48			細菌性髄膜炎	-	-	-					
	手足口病	25	1.04	1.24	↓		無菌性髄膜炎	-	-	-					
	伝染性紅斑	-	-	0.19			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.17					
	突発性発しん	8	0.33	0.30			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-					
	ヘルパンギーナ	16	0.67	0.27	↘		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-					

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	76	70歳代、90歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	17	40歳代・O157
5	梅毒	3	85	40歳代・2人、50歳代・1人